

ちば里山カレッジ「里山ボランティア養成コース」実施報告書 (3)

特定非営利活動法人ちば里山センター

題 名	ちば里山カレッジ「里山ボランティア養成コース」 第3回講義&フィールド研修 安全な里山整備作業のための知識と技術の修得
日 時	平成 27 年 8 月 22 日 (土) 9:00~17:00
講 師	講義&実習 : 林業・木材製造業労働災害防止協会千葉県支部 専務理事 太田 勝男 実 習 : 特定非営利法人ちば里山センター 副理事長 高橋 和靖 理 事 風間 俊雄
会 場	千葉県緑化推進拠点施設 大研修室(講義)&施設内フィールド(実習) 講義 : 林業における災害発生状況及び里山活動の安全管理&刈払機の安全な使い方 実習 : 刈り払い機作業実習 講義 : チェーンソーによる伐倒作業の基本 実習 : チェーンソー作業実習
出席者	受講生 42 名 (欠席 6 名)・主催者 2 名・スタッフ 1 名
報 告	<p>9:00~10:30 講義 林業における災害発生状況及び里山活動の安全管理&刈払機の安全な使い方</p> <p>10:45~12:00 実習 刈払機作業実習</p> <p>林業での死亡事故は平成元年の 5150 人をピークとして、平成 26 年は 1611 人と減少傾向がみられるが過去 5 年は毎年 2000 人から 1600 人を推移している。初心者に多い経験不足、ベテランの労働災害の要因には「慣れ」「思い込み」があげられる。安全作業の理解・再確認の習慣づけが求められる。</p> <p>講義後、3 班に分かれて刈払機の実習を行った。労働災害の安全管理の講義を受けたせいか、唸りを上げる刈払機にしり込みする受講生の姿も見られたが、全員刈払機を操作し、安全な操作が安全管理の基本と学んだ。</p> <p>(昼食後) DVD 放映 チェーンソーの安全な操作</p> <p>13:00~14:00 チェーンソーによる伐倒作業の基本</p> <p>14:15~16:30 チェーンソー作業実習</p> <p>16:45~17:00 まとめ</p> <p>チェーンソーは刈払機と比較すると立体的な作業イメージをつかむことが重要とされ、伐倒にあたっては調査と計画、打ち合わせが重要となる。</p> <p>伐倒にあたって、前方、後方、周囲の安全確認と指差し呼称、予告合図、受け口切り、伐倒方向の確認、追い口切り、終了合図と連続する作業が重要。</p> <p>実習では、丸太を薄く切る「煎餅切りに加え」、伐倒を意識した安全作業の確認と受け口切り、追い口切りを体験した。</p> <p>チェーンソーは思いのほか重量感があり、先端が下がってしまう傾向が否めず、受講生からの印象も水平切りが難しいとの印象が聞かれた。作業後は広葉樹の伐倒ポイント、かかり木の処理など、里山での伐倒をイメージした質問もあった。</p>

添付資料（写真）



太田講師 刈払機について



太田講師の刈払機実習



唸りを上げる刈払機



刈払い後が鮮やか



道際の下草の刈り払いも



順調に進む刈払い



刈払後はスッキリと



午後のチェーンソー講義



高橋講師煎餅切り指導



煎餅切りは薄く



風間講師煎餅切り指導



受け口切りと追い口切り



水平切りに力こもる



受け口深めかな？



チェーンソーがズッシリきます